



## Holi 歯科

東京都足立区梅島 3-33-10 Jビル 2F・3F  
URL : <https://holi-dental.com/>

# 積み重ねた歯科医としてのキャリアを活かし、質の高い治療を追求

2021年8月、東京都足立区にてブランドオープンした「Holi 歯科」。オープンングスタッフには経験豊富な歯科医たちが充実しており、歯科の一般治療に加え、予防・インプラント・小児・矯正・審美治療にも注力している。歯科医として充実したキャリアを歩み、プライベートでは多趣味な一面を見せる堀永院長のもとを、本日はジャガー横田さんが訪問。インタビューを行った。



東京都三鷹市出身。先祖代々医者の家系で、歯科医である父親と同じように『日本大学』の歯学部に入學。歯科医となってからは、院長職や複数の歯科医院の開業を経て、様々な経験を積んだ。そして友人の運営するクリニックの分院長を務めた後、その分院を継承し、新たに『Holi 歯科』を2021年8月より本格始動。現在に至る。

## 院長 堀永 知義

対談

### ゲスト ジャガー横田

あるクリニックの中には著名人御用達の所もあるので、治療の質は保証しますよ。

それは頼もしい限りですね。患者の皆様も、安心でしょう。では次に、貴院の強みや特長についてお聞かせください。

当クリニックは二階が診察室となっており、三階は予防ルームにしています。そこには治療台4台を入れており、歯科衛生士さんたちがメンテナンスにあたっています。歯科医は私と副院長、その他に矯正やインプラント専門の先生が非常勤で在籍していて、体制は万全です。そして当院は東武伊勢崎線と大師線の西新井駅の駅前にございます。アクセスも良いんですよ。

診療内容に関しては、歯周病治療などの一般治療に加えて、審美治療にも注力しています。私の先輩がボトックス治療をさせていただいて、その方の下で私も勉強させていただいた経験が活かしているんです。

歯科医として充実のキャリアを積んでこられたことが窺えますよ。お話も聞きませんが、最後に今後の目標をお伺いします。今回、縁あってここで開業することができました。その縁への感謝を忘れることな

「Holi 歯科」さんはこの夏オープンしたばかりですね！ おめでとうございませう！

ありがとうございます。コロナ禍やオンラインピックの影響もあり工期が遅れてしまいましたが、周囲の方々の協力もありオープンまで漕ぎつけることができました。オンラインングスタッフも頼れるメンバーが揃ったので、良いスタートを切れると思います。開業まで色々なことがあったと思われまます。まず最初に、堀永院長の経歴から簡単に教えていただけますか。

代々続く医者の家系に生まれまして。父の先祖は山口県で7代続いた御典医だったそうです。その流れを汲み祖父は産婦人科を開業、その背中を見て育った父は歯科医になりました。そして私も導かれるように歯科医の道を志すようになり、父も学んだ『日本大学』の歯学部に入學。卒業し歯科医となってからは勤務医をしたり、一人での開業にチャレンジしてみたりと、様々なシチュエーションで経験を蓄積しました。

由緒あるお家柄なのですね。では、そこからどのように貴院の開業へ？

数軒ほど歯科クリニックを展開している歯科医の友人に「今の分院長が開業を機に退職するので、手伝ってほしいか」と頼まれたので、引き受けることに。しばらくした後、「そろそろ自分でやりたいから、外に出るよ」とその友人に言うのと、「それならここを継承してくれ」と言われまして。彼も新たな担い手を求めていたんでしょね。そこでその分院を「Holi 歯科」として新たにオープンすることを決めたのです。

お互いに Win-Win でしたね。地域の患者さんからしても慣れ親しんだクリニックが引き継がれたことは良いことですね。今回この副院長になってくれたドクターも前のクリニックから長く勤めていた皆さんの患者様が付いていたので、地域の皆さんは安心されたことでしょう。副院長が残ってくれて、本当にありがたいですよ。基盤はある程度できていた状態でのスタートなので、今後は自分のカラーをどんどん押し出していきたいと考えています。



### ジャガー横田 (女子プロレスラー・タレント)

guest comment

「堀永院長は、歯科医として積んでこられたキャリアをしっかりと活かしておられる印象です。特に、広く培ってこられた知識、人脈は『Holi 歯科』さんを成長させていく上で大きな武器になっているようでした。まだスタートを切ったばかりですが、今後に本当に楽しみなクリニックだと思います。私も陰ながら応援させていただきますよ！」



### check Point

▼歯科医として、提供する治療の質を追求していくことに対しての強い意欲を見せた堀永院長。対談の中で、もう一つ理想の歯科医像を語ってくれた。それは、「喋れる歯科医」である。

▼院長の数多くの趣味の一つに落語鑑賞があり、将来的には自分で演じてみたいと思っているそう。なんと、高名な故・立川談志氏とも交友があったそうだ。一見歯科医としての仕事と落語は無関係に思えるが、実はそうではない。歯科医が口下手で、症状や治療についての説明が上手くできなければ、患者も不安になってしまうからだ。従って、院長は「喋れる歯科医」となり、すぐに患者と打ち解け、的確な説明ができるようになりたいと考えているのだ。

▼落語以外にも水泳、ラグビー、ゴルフなどのスポーツに打ち込んでいたこともあれば、漫画も好きで、自ら制作したものを出版社に持ち込んだこともあるという。そんな中で、多様な業界の人間との付き合いも増えた。ただ趣味に興じているだけではなく、違う世界を見て得た経験値やつながりを本業にしっかり活かしていきたいという思いが院長の根底に存在するのだ。